

外来化学療法 投与計画書

腫瘍内科 セツキシマブ(維持)+mFOLFOX6(トレフューザーポンプ)療法 アレルギー予防

29-039

ID	身長	cm	アービタックス(起炎症性)	250mg/m ²
フリガナ	体重	kg	レボホリナート	200mg/m ²
患者氏名	体表面積	m ²	オキサリプラチン(炎症性)	85mg/m ²
	クレアチニン	mg/dL	フルオロウラシル(bolus)(炎症性)	400mg/m ²
生年月日	S・H・R 年 月 日生まれ		フルオロウラシル(持続)(炎症性)	2400mg/m ²
治療計画	外来初回治療日	年 月 日	コース目	day 開始
			予定コース数	評価コース数
外来担当医	PHS	記載医師	PHS	薬剤師 2次監査

Rp	投与スケジュール: 1コース14日間	day1	day8
1本目 主管 皮下ポート点滴注射 アロキシ(0.75) 0.75mg ボラミン(5) 5mg デカドロン(6.6) 13.2mg デカドロン(1.65) 3.3mg 生食 100mL 投与時間 30分		●	×
2本目 主管 皮下ポート点滴注射 アービタックス _____ mg 生食 250mL 投与時間 1時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		●	×
3本目 主管 皮下ポート点滴注射 生食 100mL 投与時間 1時間		●	×
4本目 主管 皮下ポート点滴注射 オキサリプラチン _____ mg 5%ブドウ糖液 250mL 投与時間 4時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		●	×
5本目	側管 皮下ポート点滴注射 レボホリナート _____ mg 5%ブドウ糖液 250mL 2時間 エルブット投与2時間後に開始 (____年__月__日__%doseへ減量)	●	×
5本目 主管 皮下ポート点滴注射 フルオロウラシル _____ mg 5%ブドウ糖液 100mL 全開 投与時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		●	×
6本目 主管 皮下ポート点滴注射 フルオロウラシル _____ mg 生食全量 140mL 投与時間 46時間 (____年__月__日__%doseへ減量)	<患者退室時の確認事項> <input type="checkbox"/> 固定、クランプ開放の確認 <input type="checkbox"/> 抜針セットを渡す <input type="checkbox"/> 5Fuの終了時間を記入	●	×

1本目 主管 皮下ポート点滴注射 ボラミン(5) 5mg デカドロン(6.6) 6.6mg 生食 100mL 投与時間 30分		×	●
2本目 主管 皮下ポート点滴注射 アービタックス _____ mg 生食 250mL 投与時間 1時間 (____年__月__日__%doseへ減量)		×	●
3本目 主管 皮下ポート点滴注射 生食 100mL 投与時間 1時間		×	●

1. その他連絡事項

2020年10月トレフューザーポンプ、皮下ポートに変更
 2017年3月 エルブット→オキサリプラチンへ変更
 5Fu→フルオロウラシルへ変更
 2016年11月 レイアウト変更
 2016年6月 名称変更
 2014年12月 クラニセトロン→アロキシ
 2013年2月 レジメン番号変更
 2011年4月6日作成